日本アイラック危機管理情報

①国や地域によって起こりうるテロのリスクは異なるため、渡航先のテロに関する情報を予め自身でも把握する。

外務省海外安全 HP : <http://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>

②滞在中、公共交通機関を利用する場合は周囲の状況や安全確保に十分注意を払う。

③イスラム過激派等によるテロの標的となりやすい宗教関連施設（寺院、教会など）、軍や警察関係施設にはできる限り近づかない。これらの施設を訪問（利用）する場合は極力長時間留まらない。また、主要なホテルの入口やフロント等の不特定多数の人が立ち入る場所にもできるだけ長時間留まらない。国によってはショッピング・モールや市場などの不特定多数が集まる場所も注意が必要な場合がある。

④空港及び駅では、テロを防止するため監視パトロールやセキュリティが強化され、これに伴い空港到着までの幹線道路や鉄道駅などでの検問、空港到着後のセキュリティ・チェック（荷物、身体検査）の実施が予想されるため、利用予定航空便などに乗り遅れることがないように、出発時刻の 3 時間以上前までに空港に到着するなど、余裕をもった行動を心掛ける。

⑤万が一テロ等の不測の事態が発生した場合に備え、家族や大学（担当者）との間での緊急連絡先を再確認しておく。

⑥テロ事件等に遭遇した場合には、現地の日本国大使館又は総領事館に至急連絡を入れる。不測の事態に遭遇した際には、大使館からの緊急連絡・指示を受けることができるよう準備しておく。そのために渡航前に外務省の「たびレジ」または「在留届」を必ず登録する。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

⑦テロ事件発生後は政府当局により治安の強化が図られ、不用意な行動が治安当局に誤解を招く恐れがあるため、夜間の外出や単独行動を極力しないよう行動に十分注意する。

○外務省の在外公館リスト（国別）

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>

※渡航先を管轄している在外公館を必ず確認して下さい。

※外国籍の方は国籍に応じ渡航先の在外公館をご自身で確認下さい。